

第 87 回 数学教育実践研究会 について

2013 年 11 月 30 日(土) 開催

元日本数学協会事務局長の長谷川愛美先生の、ワークショップを交えた講演を予定しています。

長谷川愛美[ハセガワエミ]

【略歴】

2003年3月

埼玉大学工学部応用化学科卒

2005年3月

北海道大学大学院数理科学研究科数学専攻修了

2005年4月～2012年12月

日本数学協会事務局 事務局長

2013年1月～

NPO 法人埼玉大学出版会事業部 事業部長 現在にいたる

【活動】

2012 40th WORLD CHESS OLYMPIAD 日本代表

4th Asian Indoor & Martial Arts Games Chess 日本代表

【著書】

数学こんな授業を受けたかった! 数学オンチのための数学入門
(日本実業出版社) 岡部恒治共著

身近な数学の記号たち

(オーム社) 岡部恒治他共著

図解ざっくりわかる微分・積分入門

(青春出版社) 岡部恒治共著

【講演内容】

すいの体積の公式を組み木細工で理解しよう

すいの体積の公式は、長年スッキリしないまま扱われてきました。前回の学習指導要領の改定の際には、その公式を中学校から外すなどという噂すら立ちました。

この問題は、「三角柱を平面で斜めに切った時、その体積はどうなるでしょうか?」という問題を解決すれば、簡単に示すことができるのです。そして、それは、「数学的活動」のきわめてわかりやすい教材にもなっています。

日本数学協会のワークショップ、「リヌーピア」で、この問題のための「木の積み木」を公開しました。

今回は、先生方にこの積み木のミニチュア版を提供し、実際に組立てて、すいの原理を理解いただければと思います。

